

(第3種郵便物認可)

「ル、多角化重要

経済ビジョン2020

たが、経済や社会状況

経済産業省は22日、このほど取りまとめた循環経済ビジョン2020を公表した。大量生産・大量消費・大量廃棄という従来型の経済モデルから資源、循環型経済への転換を目指す上で、企業が循環性の高いビジネスモデルに転換することや動静脈産業の連携など、日本がとるべき対応の方向性を示した。鉄、銅、アルミなどのベースメタルやプラスチックは今後の需要見通しを評価・分析し、リサイクルの高度化とともに多角化を確保していくことが不可欠だとしている。

希少金属（レアメタル）は供給側の課題として代替素材の開発やリサイクルが進んできた一方、需要側の課題が顕在化しつつあると指摘。希少金属以外にもリソナント元素があるとして、素材ごとに今後の再生利用率の見通しを分析してリサイクル用途の高度化・多角化に向けた

6課題対象に
共同研究推進会議
東北大と物材機
料研究機構(NIM)
はこのほど、戦略的
同研究パートナーに
る共同研究を推進す
と発表した。202
年度は6研究課題が
終年度の連結売上高
1ボレートがバナ
体制の強化を図る。

熱で灯す、地域の未来 モデル地区 PROJECT

有する自治体への波及効果を狙う。

「地熱資源の活用による地域の産業振興に関するモデル地区」に認定されたのは、北海島茅部郡森

太物黄銅棒、銅アス
バーなどを生産する権
田金属工業（相模原市
中央区、権田源太郎社
長）は、品質や納期へ
の対応を強化する。4
月に品質と生産性の向
上を目的とした「開発
室」を設置し、まずは
鋳造工程と圧延工程の
プロジェクトを立ち上
げた。職人技に頼つて

権田金属

品質・納期対応を強化

開発室設置、技術データ化

太物黄銅棒、銅ブス
バーなどを生産する権
田金属工業（相模原市
中央区、権田源太郎社
長）は、品質や納期へ
の対応を強化する。4
月に品質と生産性の向
上を目的とした「開発
室」を設置し、まずは
鋳造工程と圧延工程の
プロジェクトを立ち上げた。
職人技に頼つてから、新たに専門部署を
いる製造技術のデータ化などにも取り組んでいく。
品質と納期はメーカー
に求められる最も重要な要素だ。同社はこれまでも継続的に改善の取り組みを行ってきましたが、「生産技術改善のための人材がそろって
きた」（権田社長）ことから、新たに専門部署を

専任は少人数だが、各工程の人員とチームでプロジェクトに取り組む。

日阪製作所 営業

日阪製作所

**営業益
27億円
目標**

販製作所は22日、「G-20」を策定したと発表した。2023年3月

23年3月期 新中計を策定

役員改選は、理事長

長
業常27指29業%
梅事業所開設、奈良良
生駒市のマザー工場
地取得、モノづくりを
新活動や基幹システムア
刷新などに取り組み
だ。なお、新計画の達
績目標は今期(21年
月期)を除いて新型
コナウイルス感染拡
の影響は畿の入ん

「ただ5Gサービス」への期待感は依然根強い。「2~3年間は5Gサービスの拡大で、半

近況では、しかも多くの
経済活動を再開した中
国的新規感染者の発生
やそれに伴う感染拡大

対応を強化

を見せており、日本
内のアルミニ業界への
押し圧力が引き続く

価格は290円ふく
徐々に下がっていく
9月以降、国内新規
IOT化などにも
げたい」と話す。
新型コロナウイルス
の感染拡大による
への影響が深刻化
中、同社も今月か
要の減少傾向がう
える。こうした状
からこそ、需要回

つな
地金
から
る。
などがつぶれるケー
も今後出てくるだ
う」との声も聞かれる
など
る。

日本鉱業協会は22
に予定していた宮川
久会長（古河機械金
社長）の定例記者会
を中止した。新型コ
ナウイルス感染症の
防止の観点から、
復期 沢だ
かが

定例会見を中止

理事がみて閉催
橋本理事長続投
関西非鉄リ協組
関西非鉄リサイクリ
協同組合（橋本健一郎
理事長・橋本アルミ（
締役）は20日、アーチ
ホテル大阪（中央区）
で第54回通常総会を開催
した。新型コロナの
感染拡大防止のため理
事のみで開催し、議論
を原案通り可決承認し